

■ Dさん



わらを投げてあるので  
はありません。近づくと、  
間に「イチゴ」が見えます。  
霜よけにわらを敷きつめ  
ています。

「ハクサイ」、「キャベツ」  
も育っています。



「ニンジン」  
「チンゲンサイ」  
「ニラ」  
「ハクサイ」  
「キャベツ」  
「長ネギ」等々  
多彩な野菜が並びます。



「ブロッコリー」は、まだ花球にはなっていませんが、十分に生育しています。

「ハクサイ」は中心部分が尖がり始めています。寒くなると巻が強くなりうま味が増してきます。

「キャベツ」も巻が強く、固くなっています。

## <コラム> 野菜の生育



「チンゲンサイ」(青梗菜)です。良く目にする野菜ですが、アブラナ科の中国野菜です。

杓子型の淡い緑色肉厚部分を食べ、脂分の多い中国料理に良く合います。

種を播きますが、小粒なのでどうしてもまとまって播いてしまいます。生育に合せ、ぬき菜をし、間隔を開けねばなりません。



「ブロッコリー」キャベツの栽培品種だそうです。成長すると背が高くなり、茎や葉も写真のように頑丈になります。でも、発芽まもなくの間は、キャベツと同じく細長い茎が風を受けてフラツキ、折れてしまわないか心配され、時には添え木が必要なほどです。

写真は、中心部の花球を収穫した後に、脇芽が育ちました。おいしく食べられます。

## ■ Eさん



「イチゴ」の露地栽培になります。沢山の株は、お孫さん用。前期には、収穫に来た子どもたちの歓声が広がりました。

「レタス、サニーレタス」。サラダ良し、炒めても良し。

「ホウレンソウ」、「長ネギ」も収穫待ちです。

「イチゴ」は花を付けています。



定植された「タマネギ」です。種から育て、大きめの苗を植えています。

苗床には第2、第3弾の苗が、移植を待っています。

手前の耕作地に植えられる作物はなに？

「タマネギ」かな・・・



「ハクサイ」。実に大きく育っています。

中央にしっかりと巻き上がれば、鍋にも、汁の具にも、漬物にもなり、冬には欠かせない野菜です。

生育まちの「キャベツ」、露地の「イチゴ」と続きます。

## ■ Fさん



「ササ」を植えているわけではありません。間に緑色の野菜が見えます。

「スナックエンドウ」で、霜で葉を痛めないように霜よけをしています。まだ、その効果は分かりませんが、霜が降りる頃にはササの葉が落ちてしまうのでは？ と、心配でもあります。



以前紹介した「ソラマメ」です。実を付けるのはまだ先、冬を越さねばなりません。成長とともに寒風をまともに受けては可哀そうです。風よけも必要です。

暖かくなると、茎に黒いアブラムシが密着し、茎の色が変わったと思われるようになるそうです。

その対策は・・・、必須のようです。



「下仁田ネギ」はここ平塚にも育っています。種からじっくりと面倒を見ました。

畝に何が植わっているか分かりますか？

実は、「タマネギ」です。モミ殻に負けています。種からと購入した苗50本を加え、160本ぐらいになります。

赤い「湘南レッド」も植えました。

## <コラム> 野菜三題



なんと「トマト」が黄色い花を咲かせています。“耐寒品種の栽培実験”でしょうか？

とうに「トマト」の時期は過ぎていると思いますが、温暖化の影響かな。

生育の時期が後ろに変動したとも思えませんが・・・

結実するか、楽しみでもあります。

「長ネギ」と「下仁田ネギ」の畝間に「ジャガイモ」が育っています。収穫し落としたイモから発芽し成長したようです。

「ジャガイモ」は強い作物で、小さくて収穫に堪えないイモを畑に放置すると発芽します。また、思いがけない所から「新じゃが」が取れることもあります。

このイモはどうか・・・？



「ダイコン」です。こんなに土から伸び上っています。隣も背丈は追いつくでしょう。

栽培の本には、肥料の塊があっただけで、根先がわれる。と書かれています。ましてや石などがあった時には、奇妙な芸術作品ともなり、笑いを誘います。店頭にはきれいに伸びたダイコンがいつも並びます。苦勞の事と思います。



## <コラム> レタスの成長



◆ 苗床で種から育てました。



◆ 葉の数も増え、形ができてきました。



◆ 中心が巻いてはいませんが、これでも食べることができ、巻いた葉よりは、少々、こわばる食感がします。味は「レタス」そのものです。



◆ 巻が強くなってきました。玉になるには、もう少し時間が必要です。

